



豊能町長

塩川 恒敏

誰もが輝くまち、  
住み続けられるまち

“とよの”を共に  
創造していきましょう！

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町長に就任して初めての新年を迎えた。『令和』にふさわしい新しい“とよの”を創り出す決意に身も心も引き締まる思いでございます。

今年はオリンピック・パラリンピックが開催され、世界中が日本を注目していきます。そして、2025年には大阪万博が開催され、大阪がさらに発展するチャンスであり、本町も、インバウンドによる経済効果が最大限に得られるよう、準備を進めていくといふじでございます。

さて、我が国の少子高齢化・人口減少は極めて深刻で、更に、東京一極集中により、地方創生は進んでいません。本町は、これまで地域資源を活かし、個性を磨く努力を懸命に重ねてまいりましたが、これから

の取組みは、新たな視点や切り口が必要です。今後はこれまでの手法に加え、国連で採択された“持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)、と照りし合わせしチャレンジ、進捗管理できる仕組みも取り入れてまいります。

「教育改革」では、“地域とともにあむ学校づくり（コムニティ・スクール）”を推進し、教育力・日本一をめざした教育環境を整備してまいります。

「住みやすいまちづくりと活性化」では、将来を見据えた“総合まちづくり計画”の策定に着手しており、“学校を中心にしていたまちづくり”により、東西地区のそれぞの課題を克服すべく、雇用創出のための企業誘致や、関係人口創出のための地域資源の更なる活用など、子どもから高齢者まですべての方が安心して住み続けられぬまちづくりに取り組んでまいります。

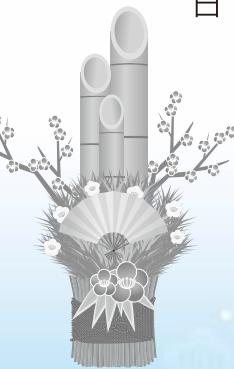
「行財政改革」では、町税が年々減少する中、老朽化した公共施設・インフラの更新の経費や、高齢化の進行による社会保障関係経費が増加しており、財政状況は厳しさを増しています。中長期の視点で事業を見直す“行財政改革プラン2020”を確実に実行して持続可能な町財政を図つてまいります。

本町が未来あるまちづくりを推進するためには、「ダイオキシン廃棄物」を最終処理しなくてはなりません。これまでの多くの関係者のご努力によりコンクリート固化等を行い、その結果、そのまま埋め立てが可能な安全なレベルまで達していますが、埋め立て場所の決定には至っておりません。今後は風評被害の撲滅のため「遮断型最終処分場」を建設するなど、まちづくりと合わせて取り組んでまいります。住民の皆様には現状のご理解とともに、「協力、支援をお願い申し上げます。

「誰もが輝くまち、住み続けられるまち“とよの”」に向け、職員とともに全力で取り組んでまいりますが、住民の皆様との“協働”なくしては実現できません。本年は、各種町政懇談会に加え、「まちづくりフォーラム」や「ワークショップ」など、「住民参加・協働のまちづくり」を進めてまいります。より一層の町政へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、幸多い実りのある一年となりますよう、祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきまます。

令和2年1月1日





豊能町議会議長

永谷 幸弘

新年明けましておめでとござります。

住民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素より、豊能町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の月定例会議におきまして、議長に再任され、はや3カ月が経過いたしました。

新年を迎えるにあたり、豊能町発展のため、住民の皆様のための議会を目指して、更に努力・精進してまいる決意を新たにいたしました。

さて、昨年を振り返りますと、5月1日に皇太子殿下が御即位され、新元号が「平成」から「令和」へと変わりました。国内においては、台風19号が10月12日に日本に上陸し、関東地方や甲信地方・東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。

犠牲になられた多くの方々の「冥福を、心からお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い

を申し上げます。

あらためて、住民の皆様の安心・安全な暮らしを守るために防災対策の重要性を、痛感したとのことです。

自然災害は必ず避けては通れません。自らが情報収集して早めの避難を心がけるなど、個人の事前防災が自然災害に対応する要であると考えます。

住民の皆様には、地域の安全の確保等に関する、「緊急を要する情報を受ける」とができる「たんぽぽメール」の登録をお願いいたします。

さて、本町の現状は、少子高齢化・人口減少が続くなど、課題は山積しています。町としては、「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、少子高齢化・人口減少に対応するための取り組みを進めているところです。

学校再配置の問題につきましては、保幼小中一貫教育の推進方針や学校再配置方針について早期に基本計画を策定し、十分に時間をかけて保護者や地域の説明会を開催し、施設のイメージ・費用・メリット・デメリットを具体的に提示するなど、丁寧な説明が求められます。

議会としても、主に子供たちの教育的視点を優先に、地域にも配慮した前向きな協議を進めていただけるよう、行政や教育委員会と議論を進めてまいります。

令和2年1月1日

ダイオキシン類を含む廃棄物の問題につきましては、現在、旧双葉保育所建屋内等に仮置きしております。二十数年前の問題が未だ解決できておりません。この問題を解決するためには、住民の皆様の窓

大なご協力・ご理解を賜りたいと思います。議会としても、一日も早く安全・安価に解決出来るように、最大限の協力をしてまいります。

本町は、都心から程よい近さに位置しており、新名神高速道路開通に伴い交通アクセスも向上しました。また、自然・教育・子育て環境にも恵まれていることなどを広くアピールして、町の賑わいづくりに活動していくことが重要と考えます。

住民の皆様には町の現状をご理解いただき、可能なことからご協力いただければと思つております。

議会として、今後も様々な町政の課題について議員間で議論し、行政へ提言できるように努めてまいります。

住民の皆様の「健勝」と「多幸」を心よりお祈りしまして、新年の「挨拶」とさせていただきます。

